

新撰朗詠集卷下

特 別
^5
6590
173
(2)



八五
6590
173
2

新撰朗詠集卷下

雜

風雲晴曉松竹

草鶴猿管絃文詞

酒山付水付漢父

禁中故京付古宅



仙家

付道士隱倫

山家

田家

隣家

山寺

佛事

僧

闲居

眺望

餞別

行旅

庚申

帝王

付帝王

親王

丞相

付執政

將軍

刺史

詠史

王昭君

妓女

遊女

老人

交友

懷空

慶賀

祝

憲

無常

白

風

ちぬのころちのちぬこよにあてこせぬも
いふいふあふちぬこよのちぬこよ
ちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ
ちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ

雲

あふちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ
ちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ

晴

あふちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ
ちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ

曉

あふちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ
ちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ

松

あふちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ
ちぬこよちぬこよちぬこよちぬこよ

おちかみんやうのうらなひに
たやまへかみかみしちよのいふらん
おしきまのきしきしきしきしきしき
すしきしきしきしきしきしきしき

竹

たのよしきしきしきしきしきしき
しきしきしきしきしきしきしき

草

なうしきしきしきしきしきしき
のうしきしきしきしきしきしき
おちかみんやうのうらなひに
うしきしきしきしきしきしき

鶴

おちかみんやうのうらなひに
おちかみんやうのうらなひに

あーらりめだてのあまのこいねくいのあま
よせあしぬな

猿

あまのこいねくいのあまのこいねくいのあま
よせあしぬな

常言

是の常言

あまのこいねくいのあまのこいねくいのあま
よせあしぬな

文句

あまのこいねくいのあまのこいねくいのあま
よせあしぬな

酒

あまのこいねくいのあまのこいねくいのあま
よせあしぬな

山 付山水

あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに

故京

あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに

故宫付古宅

あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに

あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに

あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに

仙家付道士隠嵜

あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに
あはれいふにちいさなあはれいふに

隠倫

江相公

あちつものさちちうきひのこ
たにうちまもあはとちうん

山家

中野

あまのうへあまのうへにうれ
あふのれたう縁にあまのうへ
このころあまのうへにうれ
あふのれたう縁にあまのうへ
あふのれたう縁にあまのうへ

上京の御中

田家

行恒

あまのうへにうれ
あまのうへにうれ
あまのうへにうれ
あまのうへにうれ
あまのうへにうれ
あまのうへにうれ
あまのうへにうれ
あまのうへにうれ
あまのうへにうれ
あまのうへにうれ

西衛

隣家

作方

ふきいしにこれとあつたはれ
福いふにのせのあまよひ

山寺

海屋

まじしとていふは
いまのうへいふをたれ
こたのうへいふをたれ

佛事

貞式ア

うへいふにこれとあつたはれ
まじしとていふは
いまのうへいふをたれ
こたのうへいふをたれ

康次貞金母

僧

素性

のらなうつよ志をれまのりもこんまそして
あぬやまちふらそかか
さなやちうれうわいなまのわ
うらうのらちのまこらう

困店

生か

おらりのこたのめんあまのほまをれ
いもをのあのみさうねひたれ

望朧下上

兼道

みらるハ出くはいうぬまこま
まのらむ魚くのたうらまわ

銭別

幸

らうまうまなれ
あまのこらなれ
あつをんのもれ
さあしめぬらぬらなめら

とさあめそやうてまのあつそねひまをれ
あそれといふれそこのあかしくらん

行棧

及令下

みやこまなうたつまのあつものに
たひねのうまにうまのあつに
あつらんまのあつにあつらん
せまうてまのあつにうまのあつ

庚申

及令下

あつにうまのあつにうまのあつ
あつにうまのあつにうまのあつ

帝王

あつにうまのあつにうまのあつ
あつにうまのあつにうまのあつ

親王 付重孫

みゆいらいのむらじやうにいづる白の
くもふふたしとてむつとすけ

丞相

北魏任官取柳梅花賜三時哥

あさしーもつるにさきぬるれんは
たうたうあさしーなまよあさしーん

將軍

あつねつるあさしーのあさしーのまなれこ
きこさしーあさしーあさしーあさしーあさしー

刺史

あさしーよになにものうさしーなめあひぬ
あさしーあさしーあさしーあさしーあさしー

志家

詠史

あひらひてまうれいのかきてまれい
あさしーあさしーあさしーあさしーあさしー

王昭君

あさしーいにいのみものつとあさしー
あさしーあさしーあさしーあさしーあさしー

収系は原

妓女

くちくちくちあはくおとちりあはくおとちりあはく
くちくちくちあはくおとちりあはくおとちりあはく

遊女

あはくあはくあはくあはくあはくあはくあはくあはく
あはくあはくあはくあはくあはくあはくあはくあはく

老人

おとちりあはくおとちりあはくおとちりあはく
おとちりあはくおとちりあはくおとちりあはく

おとちりあはくおとちりあはくおとちりあはく
おとちりあはくおとちりあはくおとちりあはく

交友

あはくあはくあはくあはくあはくあはくあはくあはく
あはくあはくあはくあはくあはくあはくあはくあはく

懐舊

いぢろろ乃那まふたにたてゑむとていぢろ
うろもとたにむしりおめくも
つゆのりもすゑのめがそくあめとくれ
あつしをいふておちしなまふた

迷懐

やまのそにいりぬまうみのれな
うまいのちあうにまいこい
それのこもおひひしむまのちこの
たのめよりまふたたりんあ
それあぬのしあめさうのめ
なまはらにまふたあめいもあ

慶賀

いふ—たれなほし—も—
あはれ—に—あはれ—あはれ—

祝

あはれ—あはれ—あはれ—
あはれ—あはれ—あはれ—
あはれ—あはれ—あはれ—
あはれ—あはれ—あはれ—

恋

あはれ—あはれ—あはれ—
あはれ—あはれ—あはれ—
あはれ—あはれ—あはれ—
あはれ—あはれ—あはれ—

あはれ—あはれ—

うしむらひほさぬそとらあのものお様
うしむらちちんたのうそにんれ

無常

はるちぬら

ちいもきてかへんむもふらうのあそれ
うしむらちちんたのうそにんれ
あきうせよぬひくあさらのあそれ
ちいむらちちんたのうそにんれ

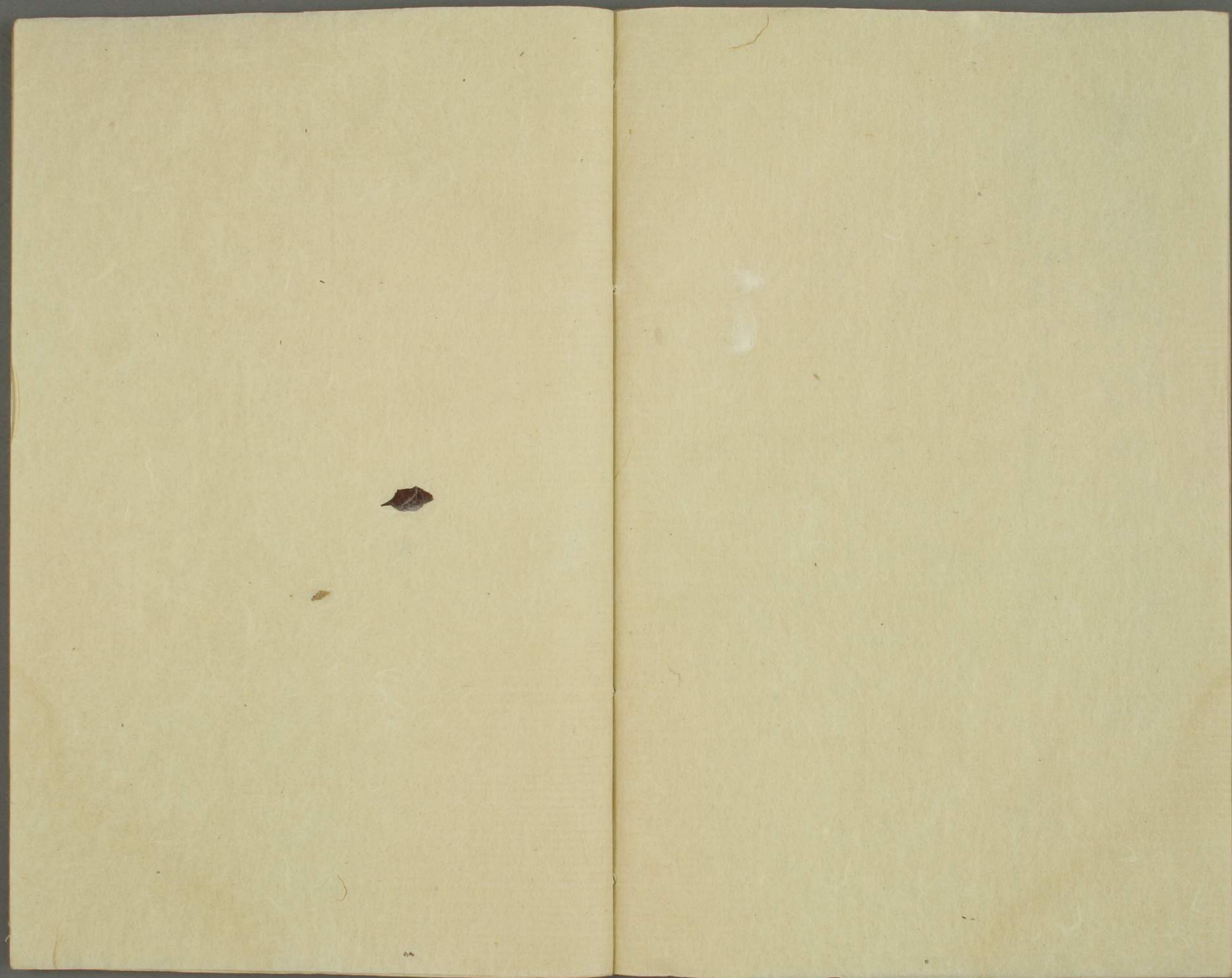
白

あひむらちちんたのうそにんれ
あひむらちちんたのうそにんれ

新撰詞詠集卷下終

丁時弘化四丁未二月寫之

則枝



以下全て

白紙

